



「地域と歩み、未来を拓く花高 教職員の活力が質の高い学びを創る」

令和8年度 花泉高校教職員働き方改革アクションプラン

岩手県立花泉高等学校
校長 伊藤治子
令和8年5月7日 策定

1. 現状の分析

時間外在校時間80時間超過者
R7：0人 R6：2人 R5：2人

年次休暇取得日数
R7：14.3日 R6：16.3日 R5：15.6日

【定性的現状】

- 業務量を負担と感じる教員の割合 5割
- 少人数体制による分担の広域化
- ICT活用による校務効率化が進展中
- 時期による特定分掌への負担集中が課題

2. 【岩手県プランを前提とした学校独自目標】

平均時間外勤務の削減：月平均25時間を目指します。
前年度比10%以上の低減を維持。

年次休暇取得の最大化：
平均15日以上、プラスワン休暇100%実施を目指します。

18時30分 完全退勤：
職員室施錠の10分前倒しを習慣化を目指します。

【重点取組事項】

DX推進による校務分掌業務のスクラップ&ビルド
形式的な会議・事務をゼロベースへ

3. 【教職員の目指す姿】

- 生徒と向き合う「心のゆとり」がある。
- 「リスクリング」で専門性を高めている。
- 「チーム花高」で互いに支え合っている。

【花高の働き方改革プラン基本方針】

※「岩手県教職員働き方改革プラン(2024-2026)」の目標値を大前提とし、本校独自の深化を図る。

4. 具体的取組内容（学校経営計画との連動） 職員による「知行合一」 知る。 動く。 変わる。 を目指す

🏡 教職員の健康管理

管理職による週次の進捗確認とメンタル相談。
月平均残業時間25時間を目指す。月45時間を超える恐れがある者への業務分担の緊急再編。

🔧 業務の精選・DX推進

会議の原則ペーパーレス化。生成AI等を活用した教材作成
文書作成の効率化。業務精選による準備時間の抜本的削減。

🌐 部活動の地域連携

休養日の完全遵守（平日1日・土日1日以上）
長期休業中の部活動の見直しによる年次取得率向上
外部指導者との協働による、効率的・効果的な指導体制の確立。

5. アクションプラン周知方法

1 学校HP・noteへの常時掲載

2 職員会議・研修での共有

3 学校通信・Teams等で生徒・保護者・地域へ周知